

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 2月 13日

事業所名： ネウボラロツ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動により部屋を分けたり等のグループを活用している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		基準より多く配置している日も多く、手厚い体制となっている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		視覚支援で予定を提示し、見通しを持って安心して生活できるよう工夫している。	幼児トイレにドアの設置などがないため就学にむけた5歳児等には個室等の改善を検討している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		共有ファイルを置くことで職員が閲覧することで個別支援計画を確認できるようにしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者への独自アンケートなどを実施したり、ニーズに合わせて職員で話し合っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後に向けて検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		月1回開催している職員会議で、課題を提示し研修の機会を確保している。自立支援協議会やオンライン研修などを活用している。	

適切な支援の提供

10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		施設医と一緒にケース検討会などを実施して計画に活かせるようにしている。	
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		TASP.新版K式2020・JSIなどのツールを利用している	
12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達ガイドラインに沿って実施している。	
13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		職員で周知することで計画内容を把握・実施している。	
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		週案や、月案など職員間でミーティングを行い実施している。	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		年案や月案を作成している。	
16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別支援や集団での支援などを作成し、記録を残すことで職員間で共有している。	
18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝の朝礼で必要事項の確認をしている。	
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		全職員が閲覧できるファイルに共有したいことを記入して情報共有している。	
20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		パソコンで記録の管理をすることで情報を整理し、支援計画の評価に活かしている。	
21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1回保護者と面談して、保護者のニーズと施設での様子を伝えている。	
22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		全ての会議ではないが、必要に応じて出席している。	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		医療の受診に同席させてもらったり、リハビリの見学など行かせてもらうことで連携している。	
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行先の園や学校の先生に事前に訪問してもらい子どもの様子を観察してもらったり、個別支援計画や評価の共有。また引き継ぎ書を作成し移行先に訪問して引き継いでいる。	
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行先の学校の先生に事前に訪問してもらい子どもの様子を観察してもらったり、個別支援計画や評価の共有。また引き継ぎ書を作成し移行先に	
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		自立支援協議会の子ども部会を活用している。	

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		コロナ禍で以前は地域の保育所へ体験させてもらっていたが滞っている。今後の状況を見て再開していきたい。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	子ども部会の部長など圏域で交代しているため学齢期の課題についても共有できている。	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	送迎時、個別懇談、連絡帳などを活用し保護者の心配事なども話し合っている。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○	月に1回、ABA、視覚支援、構造化・ストレスケアについて実施している。	コロナの感染状況によりできない月もあったので、広い会場など環境を整えていく。
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	体験、入所、契約時に説明している。	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○	個別懇談時に保護者に記名してもらっている。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	個別懇談の実施やSNSでの相談、発達相談等を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	保護者会はないが、学習会や親子イベントを開催して交流できるようにしている。	
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	送迎時、個別相談、SNS、相談ノートなどを活用している。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	月に1回お便りを発行している。またSNSを利用して保護者向けに配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	事前に文章で同意書を得ている。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもや保護者に合わせて情報が分かりやすく提供されるように視覚支援など工夫して活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	クリスマスカードを作り近所に子どもと一緒に配っている。	コロナの感染状況によりできないことも多く、交流できるイベントなどを検討していく。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		玄関にファイルを置くなどして保護者向けに周知している。	防犯など訓練回数が少ないものは職員が定期的に共有するようにしていく。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		非常食を作り食べる練習をすることで必要物品を検討することができた	備蓄していく場所を検討していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		必要児は保護者に届出書をかいてもらい薬などを預かっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医者によっては、血液検査の実施等をしないため。保護者の判断に委ねざるを得ない。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		閲覧できるようにしている。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置して開催している。	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		保護者にも個別支援計画等で同意を得ている。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。